

英語で未来を拓く

『社会が変われば教育も変わる』
これからのグローバル社会を
生き抜く子どもたちのために

お子様の未来に 差をつけるのは

「使える英語」です。

英語で困らせたくない…その不安、その心配をアーネスト英語学院に預けてみませんか？

これからの時代を生き抜くために必要なこと

急速なグローバル化や人工知能の進化。国際社会の共通言語になっている「英語」の重要性が、将来さらに増していることは想像に難くありません。2年前に始まった小学校英語教科化は、「世界で活躍する人材を育成するため、早い時期から基礎的な英語力を身につけさせるのを目的」とし、「読・書・話・聞」の4技能をバランスよく鍛えコミュニケーションの能力を育てることを重視しています。

この改革の方向性とも合致したアーネスト英語学院独自の指導法『デュアル・レッスン®』は、「わかる」と「ためす」の連動型レッスンで、聞く力・話す力はもちろん、変化する学校英語や受験英語、英検をはじめとした資格試験にもしっかり対応。2歳から高3生まで一貫で育てる教育システムで、将来につながる英語力を身につけます。今まで2回にわたり、早期化・必修化した小学英語とさらに難しくなった中学英語に必要な対策をご紹介してきましたが、最終回は、学校英語の変革に付随して早期英語教育の重要性に注目が集まる「幼児期」にフォーカスしてご紹介いたします。
(ほっとパラライター 菊池しずか)

アーネストの『デュアル・レッスン®』が、それを解決します。

幼児

英語の早期教育の必要性

早期教育とは、脳が柔軟なうちに子どもの知的好奇心を促進し、高い吸収能力や順応能力を持つ幼い間に教育を開始すること。

英語をコミュニケーションの言語として捉え、 第二外国語として英語を捉える事が大切!

幼い子どもだと、英語を「学ぶ」というより、「英語」を知らず知らずのうちに「身につけた」ということが可能に。

幼児期の英語教育で 大事にしたいこと

- ①遊び感覚で楽しむ
- ②脳に英語の部屋(英語脳)をつくる
- ③アウトプットする環境
- ④継続する
- ⑤多様性を受け入れる

アーネストなら、4技能5領域をバランス良く身につけ、英語の底力を鍛える!

子どもの将来、何で変わる?

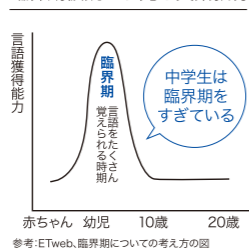
親が子どもに持たせるべきものは『自信』。 子どもが自分の力で得ていくことが必要。

根拠のある自信とは、大会やコンテスト、発表会において人と競争し、勝った負けたを繰り返しながら得られる自信。「できた!」の経験をたくさん積み重ねて、自己肯定感が生まれることで、「もっと頑張ろう!」と思う力に。一方、忍耐力が無いと、継続力が育たず、「めんどくさいからやらない」と自己否定感につながってしまう可能性も。

英語における9歳の壁。

生まれたばかりの赤ちゃんは広い音域の音を聞き分ける能力がありますが、この能力は年齢とともに退化します。英語と日本語では周波数が違うため、日本語ばかりの環境で育つと、英語の音を聞き取る必要がないと脳が判断し、英語の周波数を聞き取る力が低下します。この現象がはじまるのが9歳と言われており、9歳を超えてからは音をたくさん聞くだけでは、きれいな英語の発音を身につけづらくなります。

臨界期仮説から見る英語教育



英語脳とは?

英語脳とは、英語を理解して表現できる瞬発力。日本語は108音に対し、英語は1808音もありとても多い事から、脳が完成し言語の臨界期を迎え、脳内全てが日本語で埋まってしまいう前に、英語をよく聞かせ(インプット)使う(アウトプット)ことでスムーズに習得できるようになると言われています。

早くから英語に触れることで
強固な土台と自信をつけることが大事!

4技能をバランスよく鍛える アーネスト独自の『デュアル・レッスン®』

「わかる」と「ためす」の 連動型レッスン

わかる英語
日本人講師レッスン

ためす英語
外国人講師レッスン

結果が出せる3つの特徴

1 理解・実践連動型

1つのカリキュラムを「わかる」(日本人講師)と「ためす」(外国人講師)の両方から学び、知識を常にアウトプットすることで、自分の言葉として定着できる。

2 フィードバック型

大脳生理学の記憶の原理に則り、「わかる」と「ためす」のカリキュラムを1週間のタイムラグを置いて構成することで、定着度を高めている。

3 4技能バランス型

ひとつのレッスンで「聞」「読」「話」「やり取り」「話・発表」「書」の5領域すべてを網羅したカリキュラムとなっており、4技能をバランスよく鍛えられる。

お母さんの声

子どもの吸収力に驚くことばかり!
「学び」が楽しいことになっているのが嬉しいです!



【長野本校】
インターナショナルコース
チョコレートクラス週2回 受講中

やまうら ちえ
山浦智瑛ちゃん
栗田保育園 年中

日本語と同じサイクルで学ぶからこそ 自分の言葉として使えるように

これからの時代、英語は必須と考えた山浦智瑛ちゃんのご両親。早期に英語の音に慣れることが大事だと知り、外国人講師が多く在籍する英語教室を探すことに。「会社の同僚に話をする、お子さんがアーネストに通っている人が多くて!本当に英語力がつくよ、と評価も高かったのですぐに体験レッスンをお願いしました。娘もすぐ楽しそうだったのもあり、ここなら安心と入学を決めました」と当時を振り返る。

幼児対象の『インターナショナルコース』は、1回90分の英語保育型レッスン。未満児から年長まで年齢別に4クラスに分け、日本人講師が基本となる知識を教え、外国人講師が使える英語力を育てる独自のメソッド『デュアル・レッスン®』を実践。工作や絵本の読み聞かせなどさまざまな英語のアクティビティを通して、自然に英語で話したくなる状況をつくっている。「通い始めた未満児の時は週1回の受講だったのですが、翌年から週2回に増やしました。楽しいと喜んでいましたし、家で話してくれる英語の発音がネイティブのようにとてもきれいで!こんなに早く吸収するのなら機会を増やしてあげたいと思いました。今では、英語のCDを聞いて答える課題にもすべてちゃんと答えてられていますし、この前は“Don't touch!”って、ふとした瞬間に出てくる言葉が

英語だったのには感動しました。日本語も英語も真似をすることで言葉を覚えていくと思うので、未満児さんから始めてたくさん英語に触れていたことがよかったと思います」とお母さん。まさしく求めていた英語教育だと語る。

楽しいだけでなく、しっかり学んでいるから 自信をもって英語が使える

担当の千葉先生は、「フォニックス(音と文字のルール)がしっかり定着しているの、最近ではスペルの認識が良くできるようになってきました。また週2回のレッスンのうち、1回目で理解し、2回目に応用することで自分の言葉として使えるようになっていきます。英語が分かるようになったら、よく発話し性格も積極的になってきました」と、智瑛ちゃんはクラスを引っ張ってくれる頼もしい存在と話す。

英語がコミュニケーションツールとして身に付いているとお母さんが実感したのは去年の春。「旅行先のホテルで、娘が外国人の子とも話し、別れ際にバイバイと手を振る姿を見た時は本当に驚きました。とても自然なんですよ。世界各国から集まった先生たちが揃うアーネストさんの学習環境のおかげで、多様性を受け入れ違和感なくコミュニケーションが取れるようになっていたのだと感謝しています」と嬉しそう。英語がわかる、話せるのが嬉しいと智瑛ちゃんも感じているようだとお母さん。アーネスト英語学院での智瑛ちゃんのさらなる成長に期待を寄せていた。



季節のイベントでたくさんの先生と仲良くなれた智瑛ちゃん

4月

まだ間に合います!
新年度生受付中!!

無料体験
レッスン
受付中

お早目のお申込みでご希望の曜日時間に添いやすくなります!



河合塾グループ
幼児から高3生の英語専門校
アーネスト英語学院
earnest english academy

長野本校
長野市南千歳町965番地
●営/火曜~土曜
(11:00~22:00)
●休/日・月曜



長野南校
長野市篠ノ井会45番1
●営/火曜~土曜
(11:00~22:00)
●休/日・月曜



上田校
上田市中央1丁目2-17
八幡屋松尾町ビル
●営/火曜~金曜
(13:00~22:00)
(土曜11:00~21:00)
●休/日・月曜



info@eeanet.com
アーネスト英語学院

WEBは
こちらから



☎026-268-0050

☎026-214-5150

☎0268-75-8650

フレンドキャンペーン実施中!

◆ご紹介頂く在校生と、ご入会頂く新入生の両方向に特典があります!

入学金半額!!

11,000円(税込) ⇒ 5,500円(税込)

2023

3/31まで